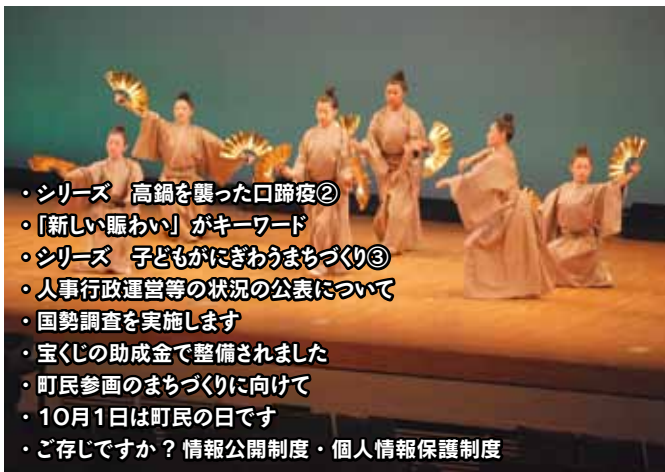


広報たかなべ

2010. 9. 17 NO. 366



8月2日、高鍋町は高校生のさわやかなパワーで包まれた、思い出多き一日になりました。口蹄疫発生により最後まで開催が危ぶまれた全国高等学校総合文化祭。この日は、宮崎県内各地で各部門の発表が行われ、高鍋町でも「吟詠剣詩舞部門」の発表が中央公民館で盛大に行われました。また、高文祭に合わせて来県された秋篠宮ご夫妻と佳子さまは、口蹄疫被害を受けた高鍋農業高校をご訪問になり、励ましのお言葉をおかけになりました。

負けるな高鍋 ～心ひとつに～

高鍋町にある宮崎県家畜改良事業団で飼養されていたエース級の種雄牛を含む宮崎県内の29万頭弱の家畜が犠牲になり、宮崎県をはじめ、日本全体の畜産業や社会情勢を揺るがす深刻な事態を引き起こした家畜伝染病口蹄疫（こうていえき）。1例目を確認してから130日目の8月27日、宮崎県は終息宣言を発表しました。

牛や豚など偶蹄類の家畜が全頭処分となり、畜産業をはじめ、さまざまな業界で大きな被害を受けた高鍋町。しかし、今後は「復興」「再生」に向け、力強く歩み出します。

口蹄疫の支援に対するお礼

高鍋町長 小澤 浩一

宮崎県で発生した口蹄疫につきましては、高鍋町においても5月14日に疑似患畜が確認されて以来、懸命の防疫活動を講じてまいりました。その後、5月18日には、宮崎県知事が非常事態宣言を発し、5月19日には、口蹄疫対策本部において、10km圏内のすべての牛や豚を対象に、殺処分を前提としたワクチン接種が決定されました。本町においては、町内すべての牛や豚が全頭処分され、畜産業をはじめ、他産業においても多大な影響を受けているところでございます。

8月27日、宮崎県知事の終息宣言により、全ての防疫措置が終了したところでございます。この間、口蹄疫により多大な被害を受けた町内畜産農家に対するご支援、また、防疫作業へのご協力および、防疫作業等へ物資をご提供いただき誠にありがとうございました。

ご厚意に対しまして、心より深く感謝申し上げます。

今後、高鍋町の経済復興および畜産業の再生に向けて、官民挙げて全力で取り組んでまいりますので、引き続き、町民の方をはじめ、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



高鍋町での1例目発生時
担当課と協議を進める町長

再生への第一歩①

宮崎県は、八月三十一日、口蹄疫発生地域の清浄性確認のため「観察牛」の試験飼育を始めた。この日に導入したのは、高鍋町内にある県立農業高等学校や県立高鍋農業高校など県内九カ所の県の施設や農場。

口蹄疫により大きな被害を受けた高鍋農業高校の明永弘道畜産科主任は、「生徒たちは、にこやかな笑顔で観察牛の顔を眺めています。今後は、生徒と夢を語り、励まし合いながら頑張ります」とO（ゼロ）からの再生を誓った。

今後、希望する町内の口蹄疫発生農家にも「観察牛」の導入が行われる。

このことが、畜産再生への第一歩であることは間違いない。



導入された観察牛
写真提供：高鍋農業高校

再生への第一歩②

高鍋農業高校野球部の田村栄一主将が、八月の全国高校野球選手権大会で始球式を行った。テレビを通して緊張が伝わってきたが、宮崎県民を感動させる素晴らしい投球だった。心のこもった投球と、投球後の笑顔は、高鍋町民に元氣と勇気を与えてくれた。

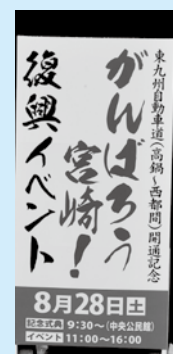
田村主将、ありがとう。



一生の宝物になるであろう記念ボールを手にした田村主将

がんばろう宮崎！復興イベント「東九州自動車道（高鍋～西都間）開通記念」

盛大に開催される！



八月二十八日、宮崎県・高鍋町・西日本高速道路（株）との共催により、高鍋町中央公民館で行われた。

宮崎県知事、西都・東児湯五町の首長らが出席した式典の後、知事による口蹄疫の終息宣言と高鍋農業高校生徒による復興宣言が行われ、会場は穏やかな空気に包まれた。外では、復興イベントとして、キャラクターショーや地元芸能発表、焼き肉ふるまいや抽選会などが行われ、多くの家族連れでにぎわった。



行列ができたふるまいコーナー
焼き肉の人気はやっぱりスゴイ！

高鍋町へ県内外から 多くの善意をいただ いています

「高鍋町口蹄疫 対策義援金」

※振り込みによる寄付は、通帳の
標記のまま掲載(敬称略・順不同)
(七月一日～八月三十一日)

【個人】

▽フクダタカオ▽イトウイサム▽コ
ウマルヨシノブ▽スギタヨシイチ▽
ヒダカケンジ▽ワキミチヨシ▽岩沢
延枝▽笠置美奈子▽金子昭恵▽長島
美弥子▽岩切恵美子▽黒木敬▽大野
広子▽牛尾篤司▽石川悦子▽山本美
恵▽西本敬子▽時任里佳▽金田憲治
▽山田知枝美▽江川富志子▽有田秀
子▽串間直子▽木村和樹▽加藤寿子
▽大田鐘吾▽米村和代▽米村文子▽
小野寺勝▽山内範子▽新名貴久子▽
津野田和子▽鳥本登志子▽原佐智子
▽千村由香▽飯田琴子▽坂口純子▽
一本庄二郎▽鎌田さくえ▽代谷八千
代▽田村正紀▽鶴川奈生子▽宮寺恵
子▽中原真二▽田村稔▽松原悠揮▽
小森隼▽岩野武敏▽新垣真悟▽フジ
モトヨウコ▽タクミクニ▽柳田克
敏▽アクタキョウコ▽デルナ・ウイ
リアム▽永井幸治▽勢井昭良▽原慶
明▽池田秀久▽児玉勇▽江口和子▽
宮崎敏子▽宮崎松江

【団体】

▽ヨシシステムリサーチ(九)▽ア
サクラジカヨウジドウ▽米沢市民の
皆さん▽佐藤税務会計事務所▽スマ
イル訪問看護ステーション▽朝倉市
杷木地区民生委員児童委員協議会▽
串もん酒場びい助▽八戸シヨッピン
グセンター開発㈱▽チバトヨペット
(カ)ナラシノテン▽特定非常利活
動法人サン・ワールド・ビジョン▽
口蹄疫チャリティ手作りイベント▽

有限会社いっとく▽川添簡易郵便局
▽西田会▽菅生潤委員会▽甲子園大
好き同盟▽社会福祉法人ことぶき保
育園▽道具小路西高齢者部会▽日蓮
宗追分協会高鍋国憲▽高鍋町消防団
直轄部▽高鍋町消防団第一部▽高鍋
町消防団第二部▽株式会社ダイワロ
ンサルタント▽華頂幼稚園父母の会
▽理水化学(株)南九州営業所▽ジチロ
ウアサクラシヨ▽三万石お客様一
同▽高鍋町役場職員労働組合▽山椒
茶屋お客様一同▽カブドットコムシ
ヨウ▽P.L.高鍋支所▽南九州大学学
友会▽高鍋自動車学校▽中央シヨッ
ピングお客様・従業員一同▽南宮崎
商会▽T.M.A.X.▽(株)スギオフェニ
ックスゴルフコンペ▽高鍋町シルバ
ー人材センター▽社会福祉法人朝倉
市社会福祉協議会▽朝倉市民の皆さ
ん▽高鍋地区薬剤師会▽日本基督教
団高鍋協会▽野の花館▽ジチロウミ
ヤザキケン▽やちよ絵手紙の森美術
館▽さわ田茶家▽秋葉牧場▽ひまわ
りイベント来場者の皆さん▽秋月郷
土館▽秋月振興会▽秋月区会長会▽
高鍋高校昭和五十六年卒同窓会

「口蹄疫寄付金」

(五月二十七日～八月三十一日)
(敬称略・順不同)

▽朝倉市▽米沢市▽米沢信用金庫▽財
団法人正幸会▽竹本てつ▽高島産業(株)
▽横河電機(株)▽荏原エンジニアリング
サービス(株)▽児湯地区エルピーガス事
業協同組合▽高鍋たばこ販売協同組合
▽宮崎たばこ販売協同組合▽延岡たば
こ販売協同組合▽都城たばこ販売協同
組合▽高鍋町役場課長会▽川上典子▽
東児湯自動車高鍋分会▽南ながい▽
高鍋町民生委員児童委員協議会▽南小
国町民生委員児童委員協議会▽立正佼
成会中津川教会▽高鍋商工会議所▽高
鍋接骨院▽樋渡利枝▽パイオあしかび
▽平成二十二年高鍋高校OB祭実行
委員会▽古川誠▽旅館なかしま荘

「ふるさと納税：口蹄疫対策支援」

(五月二十一日～八月三十一日)
(敬称略・順不同)

▽長友英資▽森田和子▽小野木征男▽
前田順吉▽興裕正明▽武田康之▽高谷
のぞみ▽正岡康弘▽船木昌代▽石田健
一▽渡邊夏男・夕希子▽北原弥生▽北
原久己▽前田富美子▽上条勝久▽田中
晃▽花田俊之▽小川内幸司▽横山尚洋
▽福本秀和▽橋倉宏行

お寄せいただいた義援金は、七月
に各畜産農家へ十万円(県の義援金
を合わせると二十万円)を二次配分
として、また、八月に獣医師等へ二
十万円(県の義援金を合わせると三
十万円)、各畜産農家へ十万円を三
次配分としてお渡ししております。
また、川南町ムッチー牧場口蹄疫
災害募金(各畜産農家へ四万円)も
三次配分と合わせてお渡ししました。

※「川南町ムッチー牧場口蹄疫
災害募金」の配布とは：
川南町の畜産農家永睦夫さん
が、自身のブログ上で募金活動を
行い、これにより集まった全国の
皆さんからの善意を、宮崎県内の
各畜産農家へ四万円ずつ配布され
たもの

義援金	33,908,561円
	556件
口蹄疫寄付金	8,151,094円
	27件
ふるさと納税(口蹄疫対策支援)	1,045,000円
	22件

※県内外からの多くの方にご支援をいただ
いていますことに、心からお礼を申し上げま
す。上記額はすべて8月31日現在総額です。

姉妹都市の福岡県朝倉市・山形県米沢市からの温かい善意が 高鍋町へ次々と届けられています

義援金(順不同)
朝倉市民児協十文字中学校ブロック、朝倉市杷木地区民生委員児童委員協議会、朝倉自家用自動車協会、自治労朝倉市職労、社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会、秋月郷土館、秋月振興会、秋月区会長会、朝倉市民の皆さん、山形県立米沢興譲館高校生徒自治会、米沢市農業委員会、米沢市民の皆さん

寄付金 朝倉市、米沢市、米沢信用金庫

6月13日、米沢市で行われたドラマチック戎(えびす)市会場米沢市テント内で、高鍋町口蹄疫義援金の呼びかけとともに、多くの市民の方が縫いつないで「応援刺し子」を作成していただきました。刺し子模様は、人と人とのつながりを表現する「十字」、高鍋町の復興を願って「銭型」で刺されているそうです。

心のこもった「応援刺し子」。眺めてみると、一針一針微妙に違うことがわかります。多くの市民の方が、高鍋を思いながら縫っていただいたと思うと、胸がいっぱいになります。町民の皆さんもぜひご覧ください。



安部三十郎米沢市長(右) 役場ロビーに展示中
から小澤町長へ

「新しい賑わい」がキーワード

高鍋町まちなか商業活性化協議会の取り組み

全国的に郊外型大型商業施設やロードサイドショップ等の進出が進み、既存商店街の活気が失われつつある中、高鍋の商店街でも空き店舗や空き地が増加の一途をたどっています。

このような中、城下町高鍋の歴史や文化、伝統などを商店街に取り込み、連携することで商店街の活性化と新しい賑わいを創出しようというプロジェクトがスタートしています。今回は、このプロジェクトを皆さんに紹介します。

きっかけ

「このままでいい訳がない」商店街に関わる人はもちろん、町民もそう思っているはずである。

秋月家三万石の城下町として繁栄を築いてきた高鍋町。昭和時代の商店街は、人通りが多く、活気に満ちあふれていた。

しかし、車社会となった現在、郊外型大型商業施設やロードサイドショップが人気を集め、人の流れは自然と商店街から郊外へ向き、商店街を歩く人は少なくなってきた。

このような人の流出を止めるため、魅力ある商店街にしようと、町は商店街の道路整備やさまざまな補助事業を展開してきた。また商店街でも、大手量販店の値段や品ぞろえに負けない「何か」を探求し、試みてきたが、集客や継続的な商店街活性化に結びつく起爆剤とはならな



い厳しい現実となっていた。このような中、平成二十一年五月に宮崎県の補助事業「まちなか商業再生支援事業」(※1)が示され、冒頭の思いを強く持っていた高鍋商工会議所黒木敏之会頭ほか商店街メンバーはこの事業にかけてみることにしたのである。

(※1) 「まちなか商業再生支援事業」

商店街等が、地域、産業、観光など多様な主体と連携して取り組む、組織や人材、計画づくり、イベントの開催や施設の整備などを行う場合の助成や、個店を対象とした研修会の開催、専門家による助言指導を行う。

組織

高鍋町には、「立花商店街振興会」「高鍋本町一番街商店会」「中町名店会」からな

る高鍋町商店街連合会がある。連合会は現在、商店街関係の団体と連携して「夕やけ市」や「門前朝市」など町民が楽しめるイベントを定期的開催している。

このような中、申請していた「まちなか商業再生支援事業」が採択され、町においても、県と同額の補助をつけることとなった。これを受け、商店街では高鍋町商店街連合会、たかなべ中央とおり会、高鍋町観光協会、高鍋商工会議所で構成する「高鍋町まちなか商業活性化協議会」(以下「まちなか協議会」)を立ち上げ、中町名店会会長の小澤正隆さんを会長に、この事業がスタートしたのである。

まちなか協議会の方向性

平成二十一年十月二日、まちなか協議会設立総会を開催した。この中で、城下町高鍋

の歴史や文化、伝統などを商店街に取り込んでいくという方向性を持って、城下町高鍋の商店街活性化を図り、新しい賑わいを創出する仕組みを構築することとした。

その後、度重なる会議や視察研修を行い、この事業の進め方についての検討を行った。そして、活性化の根本は「個店の魅力」としながらも、統一感や連携などに重点を置く内容とし、「商店街再生活性化プロジェクト」を柱に展開を図ることとなった。



活発な議論の場となるまちなか協議会三役会

「商店街再生活性化プロジェクト」

「商店街再生活性化プロジェクト」は、次の四つのプロジェクトからなる。

①のれんプロジェクト

- ・統一デザインの日除けのれんをまちなか事務所と商店街連合会理事店舗に設置
- ・代々受け継がれるような各商店のシンボルになるのれんの制作

- ・直線が長い商店街の特性を生かした、趣のある空間の演出
- ・商店街散策を目的としたのれんマップの作成

②あかりプロジェクト

- ・昼間はオブジェ、夜は灯籠として活用する小型灯籠を各商店街の店舗に設置
- ・各商店街のシンボルメニューメントとしての大型灯籠の設置

- ・商店街散策を目的とした石あかりマップの作成

③町屋プロジェクト

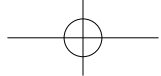
- ・使用していない空き店舗をその建物の雰囲気や壊さず、昔の趣のある町屋風にアレンジし、活用する
- ・すべての空き店舗が利用できる体制の構築

【活用例】

- ◎アレンジ済みの空き店舗で、陶芸教室や絵手紙教室など、住民が利用できる空間を作る
- ◎アレンジ済みの空き店舗で商売をしていたり、方々を募集し、新しい流れを作る

④自主独立プロジェクト

- ・補助事業終了後の自主独立に向けて、収益を上げるための商品開発
- ・まちなか協議会事業のPRのためのホームページ作成



町民の皆さんの声

平成二十二年二月六日、シンポジウムを開催した。その中のパネルディスカッションでは、各パネラーが商店街に対して本音で議論を行った。厳しい意見が多く聞かれたが、まちづくりには貴重なものとなった。

また、町民の皆さんが持っている商店街のイメージや期待を掘り起こし、この事業に反映させるため、高鍋町内の約千世帯に対し、三月に「お買い物アンケート調査」を行った。結果、活気がなくて雰囲気がいまいきなどといった負のイメージを多く持たれているということが分かった。しかし、記述意見の回答率が高く、その関心の高さや応援したいという意向を強く持たれていることも分かった。

まちなか協議会の今後

これらの町民の皆さんの貴重な声や関係者の意見を参考にしながら、「集客」ではなく人が集まるための「新しい賑わい」の創出を各プロジェクトを通して求め続けていく。

取材をして感じたこと...それは何より協議会メンバーが本気であるということでした。町民の皆さんも、まちなか協議会の今後の活動に関心を持っていただけたら幸いです。(担当者)

興味深~い 4つのプロジェクト大紹介！！

まちなか協議会会長と各プロジェクトチームキャプテンにお話を伺いました。



会長
小澤 正隆さん

私たちに結果を出すことが求められていると思っています。けれども、商店街の復活には時間と労力が必要であることもよく分かっています。

今後は、先輩方の知恵や経験を伺いながら、最終的に個店が繁栄することを目指し、城下町として心も町並みも統一感を持った商店街になるよう、また、この取り組みを考えたビジョンが時間が経ってもぶれることのないよう、力を尽くしたいと思っています。メンバー一同、覚悟はできています。

今年度に終了予定であるのれんプロジェクトとあかりプロジェクト。来年が仕上げの町屋プロジェクトと自主独立プロジェクト。どれも面白くなりそうです。

のれんプロジェクト

現在、各商店のシンボルとなるのれんの作成を行っています。

作成は、色やイメージなどを店主と話し合いながら行いますので、存在感があり、個性の光るものになると思います。のれんプロジェクトという部分では商店街における連携が必要ですが、のれんそのものの統一感を持たせないようにと考えています。

のれんを掲げたことにより、店主の商売への意識が変化し、また一方で、消費者の購買意欲を誘うことができれば嬉しいですね。



設置前に行く個店
ごとの下見



店主との
打ち合わせ



キャプテン
古川 浩二さん

あかりプロジェクト

商店街に25基の小型灯籠を設置するプロジェクトが、着々と進行しています。設置する灯籠の投票を、7月に東西小学校6年生と先生に、8月には役場と商工会議所において町民の皆さんに行っていたが、9月1日に25基が決定しました。

ここで上位3基を紹介します。



副キャプテン
井上 聡さん

一位



二位



三位



また、今年度中に、商店街のシンボルモニュメントをコンクール形式で公開制作していく予定です。ご期待ください！

※取材を行った8月、あかりプロジェクトキャプテンの田中等さんは、仕事のため海外におられました。その田中さんより次のようなメッセージが届きましたので、ご紹介いたします。

「現在、世界中の彫刻家たちが、高鍋町の商店街のためにあかりモニュメント（シンボルモニュメント）のプランを考えてくれています。すでに大きな反響があり、プランも届き始めています。公開制作は来年1月末から3週間開催され、選ばれた作家たちが高鍋町に来て作品を制作します」

自主独立プロジェクト

自主独立のための商品開発第1弾として、鍋スープ作りに取り組んでいます。このスープの基本味は昨年の東児湯5町による鍋合戦で優勝を果たした味。牛乳と米粉をベースに調味料等の検討をする試食会を8月30日に開催しました。投票の末ナンバーワンの味が決定しましたので、今後は各種方面の専門家や食品化学科のある高鍋農業高校の協力をいただきながら収益を生む商品開発へと進めていくつもりです。



キャプテン
井上 照久さん



穴つのスープの味
を比べる参加者



真剣な表情で調味
料を測る参加者

町屋プロジェクト

今年度は、来年度に形にしていく前の下準備として、宮崎県建築士会高鍋支部の方のご協力を得て空き店舗の調査を行っています。

まちなか事務所（観光協会事務所兼用）改築もこのプロジェクトの一つです。もともとの建物の雰囲気を残しつつ、どの年代も気軽に寄れるような建物へとリフォームを行い、そしてこれらを使った新しい店が開店していくと「新しい賑わい」が生まれるのだと思っています。



キャプテン
武末 哲治さん

社会全体で子どもを育てるしくみづくり 「子育て支援体制の確立」

高鍋町では、子どもが健やかに成長できるよう、町内の小中学校・保育園・幼稚園・地域・企業・各種団体・行政等が子育てに対して同じ視点に立ち、社会全体で子どもを育てていけるしくみづくりや地域づくりの構築を目指しています。



高鍋町要保護児童（※1）対策地域協議会



近年の児童を取り巻く環境の変化に伴い、深刻な社会問題となってきた児童虐待。高鍋町では、これに対応するため、代表者会議・実務者会議・個別ケース検討会議からなる「高鍋町要保護児童対策地域協議会」を平成18年度に設置しています。

平成21年度は10件の相談を受け、関係機関（※2）と連携しながら対応を図りました。

今後も、児童虐待の早期発見・防止・支援体制の強化を推進していきます。

（※1）要保護児童

児童福祉法第25条の2の規定に基づき、保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童

（※2）関係機関

高鍋町、高鍋町教育委員会、宮崎県中央児童相談所、児湯福祉事務所、高鍋保健所、高鍋警察署、高鍋町医師会、高鍋町社会福祉協議会、高鍋町民生委員児童委員協議会、高鍋町内の保育園・幼稚園・小学校・中学校、高鍋町地域子育て支援センター

地域で子どもを守りましょう

保護者から子どもへの虐待行為は、子どもの心身に深刻な影響を与えるため、より早く発見して対処することが重要です。上記関係機関はもちろんですが、地域の皆様のご協力も大変重要です。次のような子どもや家庭の様子に気づいた時は、通告をお願いします（通告者の情報が漏れることはありません）。

1. よく泣き声を聞く。子どもの泣き声が普通ではない
2. 身体や衣類等がいつも汚れていたり、季節にそぐわない身なりをしている
3. 夜遅くまで外で遊んでいたりと、家に帰りたいがらない
4. 幼い子を残して親がたびたび外出している など



通告先：高鍋町 健康福祉課 子ども支援係 Tel：26-2010

高鍋町子育て支援ネットワーク



親子と地域のおばちゃんたちとの 楽しいふれあいのひととき♪

（育児の相互援助活動を行うファミリーサポートセンター事業の交流会）

核家族化・地域コミュニティの希薄化・共働き家庭の増加など子どもを取り巻く環境は、年々多様化してきています。このような中、高鍋町では、地域ぐるみによる子育て支援のより効果的な推進のため、地域住民・関係機関等協力体制の確立を目指し、平成18年度に「高鍋町子育て支援ネットワーク」を設置しています。

「高鍋町子育て支援ネットワーク」では、毎年、情報共有を目的とした支援者同士の意見交換会のほか、支援者向けの勉強会を行い、人材育成の充実を図っています。

高鍋の子どもたちが心身共に健やかに育つことができるよう、また、子育ての社会化（地域全体で子育てを支え合う気運づくり）が効果的に推進できるよう、今後も継続した活動を行います。

高鍋町子育て応援フェスティバル

「子育ての孤立化」が大きな社会問題となっている中、子育て世代のお母さんやお父さんが集う場や学ぶ場を提供し、また、子育て支援者同士の連携を深めるため、高鍋町では、平成18年度から「高鍋町子育て応援フェスティバル」を開催しています。

フェスティバルでは、毎年「親子で作ろう」「親子で遊ぼう」「絵本の読み聞かせ」コーナーのほか、子育てに関わる団体を紹介するパネル展示があり、多くの親子連れでにぎわいます。また「赤ちゃんハイハイ競争」では、かわいいわが子を応援するお母さんたちの微笑ましい声が会場に響きます。そのほか食育に関するコーナーもあり、ここでは、試食やレシピの提供を行い、食の重要性を来場者に伝えています。

今年で5回目を迎える「高鍋町子育て応援フェスティバル」も準備が着々と進んでいます。今回の実行委員長である、ももの木保育園園長の平原玲さんは「親子で1日楽しめてほっとできる場にしたいと思っています。子どもが楽しんでいる顔を思い浮かべながらの準備が私は好きで、今いろいろと考えています。皆さん、親子でぜひ遊びに来てください」と笑顔で話してくれました。

今年のフェスティバルは次の通りです。皆さん、ご家族連れでお気軽にお越しください。お待ちしております！

平成22年度

高鍋町子育て応援フェスティバル

と き：平成22年10月31日（日）午前10時～午後2時

ところ：高鍋町健康づくりセンター

内 容：「親子で作ろう」「親子で遊ぼう」「絵本の読み聞かせ」
「赤ちゃんハイハイ競争」「フッ素塗布」「人形劇」「団体紹介
パネル展示」「食育：試食コーナー」「わらべうた」など

※内容が変更となる場合があります。詳細は、開催前に全戸配布予定のチラシをご覧ください。

◆お問い合わせ◆ 健康福祉課 子ども支援係 Tel：26-2010

★今年度の実行委員団体を紹介します★

NPO法人 AI、NPO法人 野の花館、高鍋町地域子育て支援センター、なでしこ児童館、にっしん保育園、やまばと保育園、明倫保育園、なでしこ保育園、ももの木保育園、一真持田保育園、わかば保育園、まいづるカード会、高鍋町地域婦人連絡協議会、高鍋町社会福祉協議会、高鍋町民生委員児童委員協議会、高鍋町母子寡婦福祉協議会、高鍋町ファミリーサポートセンター、高鍋町（社会教育課・健康福祉課・健康づくりセンター）



折り紙コーナー



団体紹介パネル展示



赤ちゃんハイハイ競争



食育コーナー



22年度 第1回実行委員会

高鍋町健康づくりセンターでは、妊娠中から子育て期間中の方を対象にした教室や乳幼児健診、各種相談等の子育て支援活動を行っています。必要に応じて、保育園や幼稚園、その他関係機関と連携し情報交換を図っています。

妊娠中や子育てに関する気がかり、子どもの成長や発育についてご心配な方は、育児相談をお気軽にご利用ください。

【育児相談】 ・毎月第1火曜日 午前9時30分～11時30分 ※電話相談は随時受け付けています。
・毎月第3火曜日 午後1時30分～3時30分 Tel：23-2323

人事行政運営等の状況の公表について

人事行政運営における公正性・透明性の確保を目的として、平成17年に制定された「高鍋町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例(平成17年高鍋町条例第5号)」に基づき、前年度における職員の任用、給与、勤務時間、分限、懲戒、服務、研修等の状況について、町長がその概要を毎年公表するものです。

1 職員の任免及び職員数等に関する状況

●職員の総数

	(各年4月1日現在)	
	平成22年	平成21年
職員数	163人	173人
増減	△10	△13

●年齢別職員数の状況

(平成22年4月1日現在)					
10代	20代	30代	40代	50代	
1人	13人	63人	44人	42人	

●採用者の状況

	平成22年	平成21年
一般行政職	3人	1人
看護・保健師職	1人	1人
合計	4人	2人

●退職者の状況

(平成21年度)				
	定年	勲奨	その他	合計
一般行政職等	6人	3人	1人	10人
技能労務職		4人		4人
合計	6人	7人	1人	14人

●一般行政職の級別職員数の状況

(平成22年4月1日現在)							
区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職務内容	主事	主事技師	主任主事 主任技師 係長 主査	課長補佐 係長 主査	課長補佐	課長	
職員数	5人	5人	39人	23人	16人	9人	97
構成比	5.2%	5.2%	40.2%	23.7%	16.5%	9.2%	100%

●懲戒処分状況 戒告 3人

●部門別職員数の状況

区分	職員数			対前年度増減数		
	20年度	21年度	22年度	20年度	21年度	22年度
一般行政	137人	131人	122人	▲4人	▲6人	▲9人
教育	28人	23人	23人	0人	▲5人	0人
公営企業会計等	21人	19人	18人	1人	▲2人	▲1人
合計	186人	173人	163人	▲3人	▲13人	▲10人

2 町職員の給与等の状況

●人件費の状況(普通会計決算) ※決算統計資料

区分	住民基本台帳人口 (21年度末)	歳出額 A	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 20年度の人件費率
21年度	21,528人	7,475,243千円	1,397,525千円	18.7%	19.9%

(注) 人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含みます。

●職員給与費の状況(一般会計当初予算)

区分	職員数 A	給与費			計 B	一人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤奨手当		
22年度	150人	596,492千円	68,803千円	225,908千円	891,203千円	5,941千円

(注)1 職員手当には退職手当を含みません。 2 給与費は当初予算に計上された額です。

●職員の初任給及び平均給料月額及び平均年齢の状況

区分	高鍋町	(平成22年4月1日現在)				
		一般行政職		技能労務職		
		平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	
一般行政職	大学卒	172,200円	41歳1月	320,010円	55歳1月	395,697円
	高校卒	140,100円				

(注)初任給の額は、学校卒業後すぐに採用された場合の給料月額です。

●職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

区分	(平成22年4月1日現在)			
	経験年数10年以上15年未満	経験年数15年以上20年未満	経験年数20年以上25年未満	
一般行政職	大学卒	259,950円	301,900円	357,400円
	高校卒	230,200円	275,300円	312,400円

(注)大学卒経験年数10年は当該年の前後の経験年数で算出

●職員手当の状況(21年度支給割合実績)

期末勤奨手当	区分		自己都合	定年・勲奨
	6月期	12月期		
計	1.25月分	0.70月分	20年	30.55月分
	1.50月分	0.70月分	30年	50.70月分
	2.75月分	1.40月分	35年	59.28月分
職制上の段階、職務の級による加算措置があります。				
最高限度額			59.28月分	59.28月分

手当の種類	内容	
扶養手当(月額)	配偶者13,000円 配偶者以外6,500円 配偶者なしの1人11,000円 16歳から22歳までの1人につき5,000円加算	
住居手当(月額)	借家・借間で月額12,000円を超える家賃を支払っている職員 11,000円～27,000円	
通勤手当(月額)	交通用具利用者(車等)2km以上 2,000円～24,500円	
時間外勤務手当	平成21年度一般会計決算額 14,863千円	
特殊勤務手当	支給職員1人当たり平均支給年額 4,167円	
	手当の種類 5種類	
	代表的な手当の名称 町税徴収強制執行業務手当	

●特別職の報酬等(21年度)

区分	月額		区分	月額	
	町	長		報酬	議員
給料	町長	719,000円	報酬	議長	303,000円
	副町長	583,000円		副議長	227,000円
	教育長	550,000円		委員長	216,000円
			議員	210,000円	
期末手当	6月期 1.45月分	12月期分 1.65月分	合計	3.10月	



日本の未来、地域のまちづくりのためにご協力を！

国勢調査を実施します



平成22年10月1日

- ★国勢調査は、人口・世帯の実態を明らかにする国の最も重要な統計調査として、大正9年以降、日本に住むすべての方を対象として5年ごとに行われており、今回は19回目の実施です。
- ★国勢調査員が、9月下旬にみなさんのお宅へ調査票の配布に伺います。
- ★今回の国勢調査では、調査票を完全に封入した後に調査員へ提出して頂きます。封入された調査票を調査員が確認することは一切ありません。また、郵送により直接役場へ提出することができます。
- ★回答期限は10月7日です。調査票を提出する際は、記入もれがないか、もう一度確認をお願いします。

※調査の詳細については、町ホームページ(<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>)をご覧ください。

◆お問い合わせ◆高鍋町国勢調査実施本部(役場政策推進課)TEL:22-3706



よろしくね!!

宝くじの助成金で整備されました

コミュニティ助成事業は、コミュニティの健全な発展を図るため、財団法人自治総合センターが宝くじの収入を財源として行っています。高鍋町では、平成22年度に次の備品等が整備され、地域コミュニティ活動に活用されています。



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に設立されています。



整備された備品の一部

■川田自治公民館

50型テレビ・カラオケ装置一式・DVDプレーヤー・エアコン・フレームテント・携帯用投光器・会議テーブル・パイプ椅子・電動噴霧器・草払い機 など



整備された備品の一部

■上江団地自治公民館

液晶テレビ・DVDプレーヤー・UHFおよびBSアンテナ一式・エアコン・会議テーブル・スタッキングチェア・壁掛け金具

ワイヤレス放送設備一式(操作卓・無線設備・音声増幅制御盤・屋外用スピーカー)



整備された備品の一部

■堀の内自治公民館

町民参画のまちづくりに向けて ~パブリックコメント制度~

パブリックコメント制度とは、町が政策等を決めるときに、その案を広く住民に公表し、皆さんから寄せられた意見等を案に取り入れることができるかどうかを検討し、その検討結果(最終案)とともに寄せられた意見等に対する町の考え方をあわせて公表していく一連の手続きをいいます。

この制度は、町としての統一的なルールを確立し、行政運営の透明性の向上を図るとともに、住民の町政への参加機会の拡充を図り、「公正で開かれた町政」の実現を目指すものです。

21年度の実施結果は次のとおりです。

案件名	実施期間	担当課	結果
平成21年度農業委員会の適正な事務実施に向けた目標及び活動計画	平成21年7月6日 ～ 7月31日	農業委員会	ご意見はありませんでした
第5次高鍋町総合計画	平成21年11月6日 ～ 11月25日	政策推進課	ご意見はありませんでした
高鍋町次世代育成支援行動計画(後期計画)	平成22年2月4日 ～ 3月5日	健康福祉課	ご意見はありませんでした
農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の改定について	平成22年3月19日 ～ 4月2日	産業振興課	ご意見はありませんでした

※計画は、町ホームページでも閲覧できます。<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>

ご存知ですか？

情報公開制度・個人情報保護制度

【情報公開制度】

高鍋町が保有する町政情報を住民が開示請求できる制度です。

平成21年度は3件の開示請求があり、部分開示3件という開示決定となりました。

【個人情報保護制度】

高鍋町が保有する個人情報を適正な取り扱いにより保護する制度で、住民の権利として自分の個人情報の開示・訂正・目的外利用等の停止を請求することができます。

平成21年度はいずれも請求がありませんでした。

◆お問い合わせ◆

政策推進課 情報政策係 TEL：26-2003

10月1日は町民の日です

10月1日は、昭和13年に旧高鍋町と上江村が合併し、本町の発展の礎をつくった日であり、町では、この日を「町民の日」として定めています。

この日は、全ての町民が、高鍋町に生まれ、育ち、暮らしていることに誇りを持つことを再認識していただく日であるとともに、先人達の努力や功績に改めて感謝の意を表す大変意義のある日でもあります。

また、毎年「町民の日」記念式典および社会福祉大会を開催し、町行政や産業経済、教育、福祉部門等の功労者に対する表彰を行っています。



※今回は、口蹄疫発生の影響により「町民の日」記念式典および社会福祉大会の開催を見合わせるようになりました。皆様のご理解をお願いいたします。

平成22年度高鍋町新規採用職員を紹介します！

NEW FACE



よしだ きみと
吉田 竜人

配属先：健康福祉課 社会福祉係
出身地：宮崎市
趣味：読書
特技：卓球

今年度から高鍋町役場に入庁しました吉田竜人です。町民の皆様の健康と高鍋町の発展のため、一生懸命勤めたいと思います。至らぬ点も多いと思いますが、ご指導をよろしくお願ひいたします。

先輩から一言

担当している障がい福祉の業務は、待たなしの対応を迫られる場合も数多くあります。障がいのある方が住みなれた地域や家庭で安心して暮らせる社会づくりのため、相手の側に立って考えることのできる職員になってほしいと思います。(飯干係長)



かわべ ゆきこ
河邊 祐規子

配属先：健康福祉課健康推進係(健康づくりセンター)
出身地：高鍋町
趣味：ハーブの栽培・映画鑑賞
特技：ピアノ・フルート

今年の4月から、健康づくりセンターで保健師として働いています。新米でまだ不慣れなことも多いですが、町民の皆様の健康づくりのお手伝いできればと思い、頑張っています。よろしくお願ひします！

先輩から一言

保健師の仕事は、技術や知識のみならず、何をいかに感じる事ができるかが求められていると思います。いろんな方面の研鑽に努めて欲しいと思います。(上杉課長補佐)



たなか けんしろう
田中 健士郎

配属先：産業振興課 商工観光係
出身地：西都市
趣味：カラオケ・ドライブ
特技：バレーボール

高鍋町についてまだ知らないことが多く、毎日が勉強の新鮮な日々を送っています。商工観光係ということで、観光客や地域住民の立場に立って高鍋町の活性化に尽くしたいと思います。よろしくお願ひします。

先輩から一言

高鍋の海や山、城跡を駆けめぐり、高鍋の観光の振興を図るのが本来の仕事ですが、入庁後すぐ口蹄疫の過酷な業務に従事することにも彼は愚痴の一つも言わず、誠実に仕事をこなしていました。これからもオールマイティーな活躍を期待します。(山本主任主事)



かなや じゅんぺい
金谷 淳平

配属先：町民生活課 戸籍住民・年金係
出身地：都農町
趣味：サッカー
特技：リフティング

主に年金の担当をしていますが、覚えることが多く、必死に勉強をしています。町外出身なので、高鍋町のことを町民の皆様に教えていただくことがあります。信頼される職員になるよう一生懸命頑張ります。

先輩から一言

20歳になったばかり。明るくさわやかなニューフェイスです。町民の皆様と接することが多い職場にあって、課せられた仕事に日々奮闘中です。これからも研鑽を積み、大きく飛躍してほしいと願っています。ファイト!!! (椎葉課長補佐)



最近の上條さん

高鍋町名誉町民 上條 勝久 氏 百歳を迎えられました

上條さんは、参議院議員を2期務め、建設大学校長、全国建設研修センター特別顧問などを歴任され、町民の安全な暮らしや交通網の整備など、郷土高鍋町の発展のために献身的にご尽力され、その発展に著しく貢献されました。

現在は、神奈川県藤沢市のご自宅で高鍋町の更なる発展を願いながら元気で過ごしておられます。

高鍋町に対する主なご功績

1. 小丸川1級河川昇格
2. 町営野球場設置予算化
3. 南九州大学設置と開設の予算化
4. 国道10号バイパス工事予算化
5. 蚊口浜臨海公園整備事業予算化
6. 小丸川河川敷有効利用予算化
7. 高鍋町駅通り街路事業予算化
8. 東九州自動車道の原案の決定など



祝 百歳!

高鍋町在住のお二人が、このたび元気に百歳を迎えました。長寿の秘訣を尋ねると、田中さんは「動くこと。じっとしちよつたらいかん」としつかりとした口調で話してくれました。これからもどうぞ長生きをしてください。



森 千サヲ さん
(なでしこ園)



田中トメ さん(橘渡)

おめでとうおめでとう

「平成二十一年度JA児湯施設園芸部会の総会特別賞」受賞

・団体の部 竹鳩地区

・個人の部

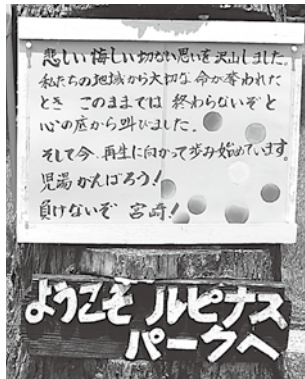
待鳥 信美 様 (トマト)

川野 実 様 (ズッキーニ)



暑さに負けず、ビーチフットボールを楽しむ子どもたち♪

◎リニューアルした海水浴場
開設以来五十六年間の無事故を誇る高鍋海水浴場がリニューアルし、砂浜にビーチパラソルの花が咲きました。オープン前には東児湯消防組合との水難訓練、期間中はビーチフットボール大会や親子サーフィン教室が行われ、親子で安心して楽しめる海水浴場として多くの人が訪れ、歓声をあげていました。



◎元気が声に戻りました
口蹄疫のまん延防止のため休園していた宮崎県農業科学公園ルピナスパークが、八月七日にオープンし、再開イベントが行われました。東児湯五町への応援メッセージ展示をはじめ、地場産品販売、ブドウの収穫体験などがあり、多くの家族連れでにぎわいました。



小学生が画用紙に描いた原画が壁画に!

◎誇るべき歴史を後世に
東九州自動車道建設に伴う発掘調査で確認された遺跡など、青木の歴史を後世に伝えるため、青木地区の小学生らは、夏休みを利用して、旧石器時代から平安時代までの壁画を高架トンネルに描きました。色鮮やかに仕上がっていく様子に、子どもたちはとても満足げでした。



ひまわりを植えた理由や口蹄疫についての説明を熱心に聞いた子どもたち

◎今年も元気に咲きました
染ヶ岡環境保全協議会は、昨年に引き続きキャベツ畑の土壤改良用ひまわりを活用して迷路を作りました。多くの子どもでにぎわう中、八月十八日には東西小学校放課後児童クラブの児童と協議会との交流会が行われ、参加者の元気な笑顔が多く見られました。

第10回高鍋城灯籠まつりのお知らせ

と き：平成22年10月9日(土)～10月10日(日)

と ころ：舞鶴公園とその周辺

内 容：灯籠点灯式・町民総踊り・大物産展・こども広場・ステージイベント・ともしびアート展・文化交流会・社協まつり・武道演武・お茶会・高鍋再発見 など

※姉妹都市朝倉市から秋月藩砲術流抱え大筒隊、米沢市から米沢藩古式砲術隊が来町され、まつりを盛り上げてくださる予定です。



第9回高鍋城灯籠まつり点灯式

わが家の宝物

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。
今回は、7月・8月の健診に来た元気なちびっこたちです！

みんな元気に
育ってね。



とよだ けんと
豊田 健人 ちゃん



いしはら ふうか
石原 楓佳 ちゃん



おおにし はるとか
大西 悠天 ちゃん



まつお こうゆ
松尾 晃有 ちゃん



すぎお あやね
杉尾 彩音 ちゃん



おりだ りんか
織田 凛花 ちゃん



くろき しんたろう
黒木 慎太郎 ちゃん



はしちと りこ
橋本 莉子 ちゃん



かい ひかる
甲斐 光 ちゃん



にしむら ゆあ
西村 結愛 ちゃん



なつだ しんじ
夏田 慎士 ちゃん



いのうえ じゅうべえ
井上 十兵衛 ちゃん



よしか だいき
吉岐 大輝 ちゃん



しかくめ みく
四角目 美紅 ちゃん



はまもと みう
濱本 海兔 ちゃん



せとくちこうたろう
瀬戸口 虎太郎 ちゃん



やまもと こう
山本 香羽 ちゃん



かとう ゆな
加藤 夕奈 ちゃん



よしだ ゆな
吉田 優菜 ちゃん



かわの いくみ
河野 育海 ちゃん



まつおか れな
松岡 玲奈 ちゃん



たけすえ ちよ
武末 千誉 ちゃん



ひろせ とらえ
廣瀬 友咲 ちゃん



かわの はると
河野 遥翔 ちゃん



まつお みく
松尾 美空 ちゃん



ながとも はな
永友 花奈 ちゃん



ひじや しょうま
泥谷 壮真 ちゃん



すえすみ ひろかず
居積 宏和 ちゃん



おおい みわこ
大井 みわ子 ちゃん



にしがわ しゅん
西河 駿 ちゃん



まわたり かのん
馬渡 花穂 ちゃん



こみやじる ね
小宮路 琉音 ちゃん



まつおか そら
松岡 空 ちゃん



どうきゅう かずき
道久 和希 ちゃん



こいずみ ひより
小泉 ひより ちゃん



おおやま なお
大山 直緒 ちゃん



かわの ひろむ
河野 大夢 ちゃん



おしかわ りん
神川 凜 ちゃん



にしむら さくや
西村 咲耶 ちゃん



かわの さき
河野 咲希 ちゃん



たけした あきと
竹下 暁斗 ちゃん



TAKANABE TOWN

広報たかなべ 2010. 9. 17 NO. 366

編集・発行／宮崎県高鍋町
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437
政策推進課／☎0983 - 26 - 2003

<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>

※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。

人口と世帯数(9月1日現在・前月比)

人 口	／ 21,700人	(- 8)
男 性	／ 10,358人	(- 1)
女 性	／ 11,342人	(- 7)
世 帯 数	／ 8,984世帯	(+ 8)